

(様式第1号)

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

「インキュベーションオフィス・TAMA」入居申込書

公益財団法人

東京都中小企業振興公社理事長 殿

申込者 所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇

東京都〇〇区〇〇〇町〇-〇-〇

法人名 (株) △△△△

代表者名(氏名) 代表取締役 〇〇〇〇 (印)

「インキュベーションオフィス・TAMA」へ入居いたしたく、下記のとおり申込みます。

記

1. 入居希望施設 〇〇〇 号室

2. 入居希望年月日 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日

3. 入居人数 〇 名

4. 創業予定又は創業・法人化年月日

(1) 創業予定者 創業の予定時期 年 月 日 (東京都内に事務所をおくこと。)

(2) 個人事業主 創業年月日 年 月 日 (個人事業主の開業届受理日)

(3) 法人 法人化年月日 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (法人登記日)

5. 添付書類 (入居申込の必要資料)

(1) 事業計画書 (指定様式)

(2) 事業計画の説明資料 (任意) ※詳細な事業計画や補足説明。ただしA4用紙を使用し10枚以内とします。

(3) 申込者の本人確認書類の写し (運転免許証、パスポート、在留カード等)

(4) ・創業予定者: 住民票 (原本)

・個人事業主: 住民票 (原本)、個人事業の開業届出書の写し

・法人: 商業登記簿謄本

(5) 会社案内、特許証・意匠登録証等の写し (任意)

6. 申込者連絡先

会社名及び 代表者名 又は氏名	フリガナ	△△△△	電話 番号	〇〇〇〇- 〇〇〇〇-〇〇〇〇
		(株) △△△△ 代表取締役 〇〇〇〇	携帯 電話	〇〇〇- 〇〇〇〇-〇〇〇〇
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇〇町〇-〇-〇			
メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇〇			

【事業計画書】 各欄の高さが足りない場合は適宜増やしてください

1. 申請事業名（必須：20 字前後）

事業名	事業内容をできるだけわかりやすく表現した簡潔な名称を記入
-----	------------------------------

2. 企業概要

設立(予定含)	年	月	業種	不明な場合は日本標準産業分類を参照		資本金	千円
販売品目または生産品目							
主要販売先							
従業者数	計 名（内訳）役員： 名、従業員： 名						
特許等（出願中を含む）（どちらかに○）			有・無	有→番号	「有」に○をしたらここに番号を記入		

3. 代表者略歴

略歴	年：どのような経験・知識・能力を有するのかが、第三者がわかるように時系列で 年：
----	---

4. 申請事業の概要

①事業目標
どんな事業分野でどういう会社になりたいか
②創業・事業化の背景
創業の動機、自身の思い
③事業スキーム
継続して収入を得る仕組みを、文章のみならず、可能ならば図解を入れて、商流(金の流れ)、物流(モノやサービスの流れ)がどうなっているか一目でわかるように。

5. 申請事業の詳細

①商品・サービス・製品の概要
・概要：特徴をわかりやすく説明。お客様がお金を出して買いたくなるような内容であると良い ・進捗状況：開発中や試験中などの場合はどこまで進んでいるかを具体的に記載
②競合との差異
競争優位性、差別化要因、新規性、独自性、特許、商標など、自社の製品・商品・サービスが競合をしのいで市場に受け入れられる理由を、競合他社や競合品と比較して記載
③対象市場
・1年後： ・2年後： 市場が一気に拡大するのはまれなので、何年後にどのような市場に売りたいかを記載 ・3年後： ・市場開拓の進捗状況：すでに市場開拓を進めている場合は、どこまで進んでいるかを記載。 市場の状況を踏まえたビジネスチャンス等の機会があればそれも記載
④販売方法
・1年後： ・2年後： 製品・商品・サービスを売るために、具体的にどのような行動をするかを記載 ・3年後： ・販売の進捗状況：すでに販売活動を行っている場合は、どこまで進んでいるかを記載

6. 事業スケジュール（進捗予定は矢印 → ）

	2020 年				2021 年				2022 年			
	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
市場調査			→									
取引先開拓				→	→							
システム開発					→	→	→					
テスト								→				
販売開始									○2 月			

7. 売上・利益計画

	売上数（個）	販売単価（円）	売上（千円）	営業利益（千円）	備考
1 年目	300	35,000	10,500	-2,500	
2 年目	1,500	35,000	52,500	3,000	
3 年目	3,000、2,000	35,000、50,000	205,000	20,000	上位モデルも販売

8. 保有する経営資源

①技術・ノウハウ
当事業を実施するのに役立つ、技術、ノウハウ
②自己資金
当事業を実施するのに必要な資金のうち、現金預金や融資など、確保できる資金を記載
③人脈・人材
当事業を実施するのに不可欠または活用できる、人材や人脈
④その他
当事業を実施するのに必要な、上記以外の資源

9. 解決すべき課題

課題	当事業を実施するのに、自社が乗り越えなければならない課題や、明らかになっている問題点、不明な点などを記載
----	--

10. 創業時の所要資金及び調達方法（単位：千円）（創業予定者または創業1年未満の者のみ記入）

投資及び所要資金		金 額	資金調達		金 額
設備資金	【機械、備品、車両等】 大まかな内訳を記入		自己資金		
			借入金（予定の場合は借入予定日を記載）	借入が確定しているものと、 予定しているものと分ける ・ 借入確定 〇〇金融機関 （〇〇年〇〇月より） ・ 借入予定 △△金融機関 （〇〇年〇〇月より）	
運転資金（6か月分）	【商品・材料仕入、外注費等】 大まかな内訳を記入				
	【諸経費等の運転資金】 大まかな内訳を記入				
	【支払利息、その他】				
合計（左右の合計値は必ず一致）			合計（左右の合計値は必ず一致）		

11. 過去3年間の決算内容（単位：千円）（創業1年以上の者のみ記入）

損益計算書	年 月	年 月	年 月	貸借対照表	年 月	年 月	年 月
売上高				流動資産			
売上総利益				固定資産			
営業利益				流動負債			
経常利益				固定負債			
当期利益				純資産			
				資産合計			
支払利息				現預金残高			
繰越利益剰余金				借入金残高			

12. 入居希望理由

理由	なぜこの施設でないとダメなのか、家賃以外の理由を記載
----	----------------------------